

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室ふれんず山王教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月2日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 30日		～ 令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが充実している。	・運動療育では、粗大運動や微細運動、ルールのある遊び等を通して、楽しく身体を動かす活動をしている。 ・学習療育では、運動からの切り替えを通して、落ち着いて集中する習慣づけを行っている。	児童発達支援での療育の中にも野外活動を何度か取り入れ喜んでいただいていたが、定期的実施できるよう計画していきたい。
2	より専門的支援が可能な言語聴覚士が在籍している。	専門的な言語、コミュニケーションスキル、感覚分野の向上につながる専門的支援を行っている。	専門的支援について職員間でも共有していき、職員の質の向上を図っていきたい。
3	お子様および保護者様の満足度が高い。	地方でも都心に遅れることのない流行の把握と自然に囲まれた地域の特性を最大限に活かした活動と個別支援計画に基づいた日々の療育プログラムの積み重ねを大切にしている。	今後開所予定の教室も利用者さんの安心につながる取り組みとして準備を進めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングに関する認知度が低い。	研修を受けた職員が在籍して実施体制を整えているが、保護者様に周知できていない。	保護者様に情報発信していくことで再度周知を図り、要望があった時に迅速な対応ができるようにしていく。
2			
3			